

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

◇都市再生整備計画 七隈線沿線地区

平成28年11月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	七隈線沿線地区			面積	1,325ha			
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	3,325.8百万円	国費率	0.40					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	○道路(都地姪浜線(橋本2)、周船寺有田線(橋本2)、都地姪浜線(羽根戸)) ○公園(貫茂中央公園) ○地域生活基盤施設(広場)吉武高木遺跡保存整備 ○高質空間形成施設(名柄川) ○高次都市施設(公民館(巻岐、田村))									
		提案事業	○地域創造支援事業(地下鉄駅券売機4カ国語化事業(七隈線8駅(橋本～金山)、老人いこいの家整備(巻岐、田村)) ○事業活用調査(事業効果把握調査)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	○道路(七隈梅林線)		一部の地権者に事業協力が得られる見込みがないため、計画期間における事業化を断念			路肩がある路線の歩道整備であり、七隈線の利便性向上に与える影響は少ないと考えられることから、指標及び数値目標は据え置く				
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初	平成24年度～28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	地下鉄乗客数	人/日	24,447	H23	26,000	H28	28,347	○	あり	当該事業の実施により、周辺道路の走行快適性の向上や駅施設自体の利便性の向上、複合施設の整備に伴う周辺環境の魅力向上により地下鉄駅周辺の活性化が図られている。更に、券売機の多言語化をはじめとした七隈線利用促進に向けた取り組みが実施されたことにより、地下鉄乗客数が目標値を上回った。	平成29年5月頃
		指標2	憩いの広場や公園の満足度	%	22.6	H23	27.3	H28	40.9%	○	あり	当該事業の実施により、当該地区の当該事業の実施による公園や憩いの広場の等の充実化が図られている。更に、高質空間形成の夜緑空間の形成が図られたことにより、取り組みが実施されたことにより、憩いの広場や公園の満足度が目標値を上回った。
	指標3	一人あたりの避難有効面積の拡大	m <sup>2</sup> /人	5.1	H23	5.6	H28	5.6	○	あり	当該事業の実施により、当該地区における避難場所及び広域避難場所の拡充が図られているなど、防災体制の強化が図られている。当該地区において避難場所の充実化が図られたことにより、一人当たりの有効面積が目標値を上回った。	平成29年7月頃
		指標4	公民館・老人いこいの家の利用者数	人/都市	65,931	H22	78,700	H28	94,330	○	あり	当該事業の実施により、公民館等をはじめとした地域コミュニティ活動の拠点形成が図られ、地域コミュニティの活性化が図られている。さらには事業実施と並行して実施した地域と行政との継続的なコミュニケーション活動を通じ、地域づくりや拠点づくりに対するコミュニケーション活動の活性化も図られたことにより、公民館・老人いこいの家の利用者数は目標値を上回った。
	指標5	まちの活気を生み出す地域の取組み満足度	%	27.7	H23	38.4	H28	39.3%	○	あり	当該事業の実施により、橋本駅を中心に買い物利便性の向上などより、地域の来訪者増が図られ、まちの活気を生み出している。さらには事業実施と並行して実施した地域と行政との継続的なコミュニケーション活動によるまちづくり活動へ活発化が図られ、まちの活気を生み出す地域の取組み満足度は目標値を上回った。	
		その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		-	-						
4) 定性的な効果発現状況	(調査中)											
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
		毎月調査されている「地下鉄全線乗車人員(1日平均)」より、当該地区内における各駅の乗車人員を集計し、モニタリングを実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● フォローアップも踏まえて今後も継続して実施				
	住民参加プロセス	金武・巻岐ブロックまちづくり協議会による地域主体の取り組み			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も継続的に活動内容を把握し、必要に応じて支援を行う				
		金武・巻岐ブロックまちづくり協議会(旧橋本駅周辺整備まちづくり連絡協議会)による橋本・金武地区周辺のまちづくりに関する企画・提案			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 今後も継続的に活動内容を把握し、必要に応じて支援を行う				

## 様式2-2 地区の概要

### 七隈線沿線地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 地下鉄七隈線沿線の人とまちをつなぐ、住みやすいまちづくり 目標1: 七隈線沿線の都市機能強化による“交通利便性の向上” 目標2: 水と緑にふれあえるゆとりある“安全・安心な空間の形成” 目標3: 地域活動の支援による“にぎわいの創出”	地下鉄乗客数	単位: 人/日	24,447	H23	26,000	H28	28,347	H28
	憩いの広場や公園の満足	単位: %	22.6	H23	27.3	H28	40.9	H28
	一人あたりの避難有効面積の拡大	単位: m <sup>2</sup> /人	5.1	H23	5.6	H28	5.6	H26
	公民館・老人いこいの家の利用者数	単位: 年/日	65,931	H22	78,700	H28	94,330	H27
	まちの活気を生み出す地域の取組み満足度	単位: %	27.7	H23	38.4	H28	39.3	H28



高質空間形成施設: 名柄川



周船寺有田の整備



都地浜線の整備



地域生活基盤施設: 吉武高木遺跡保存整備



高次都市施設(地域交流センター): 香岐公民館  
 地域創造支援事業: 香岐老人いこいの家整備

高次都市施設(地域交流センター): 田村公民館

七隈線沿線地区面積(案) 1,275ha



地下鉄駅券売機の4か国語化

<実施前> <実施後>

<p>まちの課題の変化</p>	<p>○駅へアクセスする道路の整備改善や交通結節機能の強化を含む駅の拠点性が向上し、地下鉄の利便性向上が図られた。今後は、未整備区間を含めたさらなるアクセス性向上や利便性向上を目指した整備が必要である。</p> <p>○これまで公民館の改修等の快適で安全安心な環境形成が図られており、今後も継続して未整備である公民館や公園等の整備を推進していく必要がある。</p> <p>○地下鉄七隈線の開業に伴う駅周辺の開発等により七隈線沿線のまちづくりが進んだことで、地域のまちづくりに対する意識が高まっており、今後地域のまちづくり活動や地域交流に対する支援が必要である。</p> <p>○居住人口のデータから、地区内では高齢化が進展している一方で、七隈線の開通やまちづくりの進展により、子育て世代を中心とした人口の流入も図られ、人口構成が変化している。</p> <p>○まちづくりの進展等による人口流入や高齢化に伴い人口構成が変化したことにより、地域コミュニティの希薄化が懸念される。</p> <p>○人口構成の変化に伴い、既存の公園の計画的な再整備が求められている。</p> <p>○「自然災害に対する備え」に対する地域の評価が低く、既存の避難場所のバリアフリー化、浸水対策など、地域のニーズに合った対策が必要となっている。</p>
<p>今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域と地下鉄駅を結ぶ道路の整備により、地下鉄駅の利便性向上を図る</li> <li>・都市サービスの充実化を図る施設の整備により、七隈線沿線のさらなる良好な居住環境の形成を図る。</li> <li>・地域防災計画において避難所として位置付けている公民館や公園等の整備を行い、安全安心な環境形成を図る。</li> <li>・室見川や名柄川といった河川空間を活用した景観形成や緑豊かな歩行空間の整備により、水と緑に触れ合える環境形成を図る。</li> <li>・浸水対策などを進め、自然災害に備えた防災対策を図る。</li> <li>・公民館等をはじめとした地域コミュニティ活動の拠点施設の整備を進め、地域コミュニティの活性化を図る。</li> </ul>

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

◇風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡

平成28年11月

福岡県福岡市



様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡		
計画期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成28年度	全体事業費	13,234百万円	国費率	1/3, 1/2

		要素事業名								
1) 事業の実施状況	対象事業	A.基幹事業	○都市公園事業(西南社の湖畔公園, 今津運動公園, 東平尾公園, 南公園, 小笹中央公園) ○福岡市緑地保全事業 ○福岡市緑化重点地区総合整備事業 ○福岡市吸収源対策公園緑地事業 ○安全・安心対策緊急総合支援事業							
		B.関連社会資本整備事業	-							
		C.効果促進事業	○高宮南緑地整備事業 ○運動施設整備事業 ○緑化推進事業 ○地下埋設物設置事業							
		その他関連する事業	-							
	進捗状況	A.基幹事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(H26年度末時点)		次期計画	
			○都市公園事業(西南社の湖畔公園)		用地取得(2.68ha), 園路広場整備		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
			○都市公園事業(今津運動公園)		多目的広場, 球技場整備		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
			○都市公園事業(東平尾公園)		バリアフリー化施設整備 (観覧席ベンチ取替, 陸上競技場改修)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
			○都市公園事業(南公園)		バリアフリー化施設整備 (アジア熱帯の浜谷エリア園路)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
			○都市公園事業(小笹中央公園)		用地取得(0.18ha)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-	
○福岡市緑地保全事業			土地の買入れ(7.6ha, 21地区)		一部完了		実施予定			
○福岡市緑化重点地区総合整備事業			重点的に緑化の推進に配慮を加える地区における 都市公園の用地取得(15公園), 整備(60公園)		一部完了		実施予定			
○福岡市吸収源対策公園緑地事業			新たな都市公園の用地取得(8公園), 整備(9公園)		一部完了		実施予定			
○安全・安心対策緊急総合支援事業			公園施設のバリアフリー化(12公園), 改築・更新(54公園)		完了 (H25から防災・安全へ移行)		-			
2) 事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名		当初現況値 (H22年度)	目標値 (H26年度)	実績値 (H26年度)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因			
		全市における緑の面積		18,864ha (H19年度)	18,864ha	18,980ha (H24年度)	農地などの緑は減少しているものの、公園や民有地などの緑が増加しているため、全市における緑の総量を維持している			
		温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量		1,280ha	1,375ha	1,350ha	温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め、総量は平成22年度当初よりは増加したものの、公園が充足していない地域もあり、目標値を達成できていない。			
		身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合		24.1%	39.0%	31.3%	平成22年度当初よりは上昇しているものの、市民の身近な公園が充足していない地域や市街地における緑化が十分でない地域もあり、目標値に達していない。			
		地域の公園に親しみを感している市民の割合		47.1%	61.0%	64.2%	緑化重点地区総合整備事業などにおいて、地域の公園のリニューアルを積極的に行った結果、目標値を上回った。			
		成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)		・都市公園事業について、比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・吸収源対策事業については、ワークショップ等を行うことにより地域のニーズに合った公園を整備することにより地域のレクリエーションの場を創出。						
3) その他	今後の方針	・「福岡市新・緑の基本計画」を着実に実施するために、引き続き、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積の総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえる様、目標値の達成に向けた事業を進めていく。 ・人口増加に伴う市街化や開発等によって失われる緑の面積の総量を、新たな公園の整備や緑地保全地区の買入れなどを進めることにより維持し、永続的に良好な緑を確保していく。 ・再整備時期を迎えた公園について、安全・安心の観点を踏まえ、地域が親しみを感じるよう、既存公園のリニューアルを進めていく。 ・身近な地域において緑が豊かであると感じてもらえる様、開発によって人口が増加した市街地、特に人が集まり多くの人の勤務地である都心部において、民有地の緑化の誘導や街路樹の整備に取り組んでいく。 ・大規模な公園や都心部の公園においては、企業など民間活力の導入により公園の魅力の向上や利用者サービスの向上を図り、市民に身近な公園については、規制緩和により地域の自律的な管理・運営を誘導していく。								
		・効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果) ・運動施設整備事業については、雁ノ巣レクリエーションセンターに全天候型多目的グラウンドを整備することにより、雨天でも利用可能なレクリエーションの場を創出。 ・緑化推進事業について、都心部の街路空間を緑化・花修景することにより、都心部の魅力と賑わいの創出や回遊性が向上。								

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H26年度末)
本市の「緑」に関する総合計画である「福岡市新・緑の基本計画」(平成21年5月策定)着実に実施するため、社会資本総合整備計画を策定し、福岡市域における緑の面積総量を維持し、市民に身近な緑や公園に親しみをもってもらえるよう事業を実施していく。	①全市における緑の面積(総量の維持)	18,864ha (H19年度末)	18,864ha	18,980ha (H24年度末)
	②温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	1,280ha	1375.0%	1,350ha
	③身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合	24.1%	39.0%	31.3%
	④地域の公園に親しみを感じている市民の割合	47.1%	61.0%	64.2%

A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(西南社の湖畔公園)	用地取得(2.68ha), 園路広場整備						2,805	H25より防・安全交付金へ移行
A-2	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(今津運動公園)	多目的広場, 球技場整備等						186	H25より防・安全交付金へ移行
A-3	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (観覧席ベンチ, 陸上競技場改修)						359	H25より防・安全交付金へ移行
A-4	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (アジア熱帯の溪谷エリア園路整備)						23	H25より防・安全交付金へ移行
A-5	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(小笹中央公園)	用地取得(0.18ha)						288	
A-6	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市緑地保全事業	土地の買入れ(7.6ha, 21地区)						2,328	
A-7	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市緑化重点地区総合整備事業	都市公園の用地取得(15公園), 整備(60公園)						5,827	
A-8	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市吸収源対策事業	都市公園の用地取得(8公園), 整備(9公園)						864	
A-9	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○安全・安心対策緊急総合整備事業	公園施設のバリアフリー化(12公園), 改築・更新(54公園)						442	H25より防・安全交付金へ移行
合計												13,122		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	高宮南緑地整備事業	設計・整備						8	
C-2	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	運動施設整備事業	雁の巣リノベーションセンター施設整備						29	H25より防・安全交付金へ移行
C-3	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	緑化推進事業	都心部の街路空間および公共施設の緑化・花修景						70	
C-4	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	地下埋設物設置事業	かなたけの里公園に係る下水管設置						5	
合計												112		

**主な事業効果**

- ・都市公園事業については、比較的大規模な公園を整備することによる新たな緑の創出。
- ・緑地保全事業については、緑地保全地区に指定された地区で買取請求があった場合、その土地を買取ることにより、持続的に良好な緑地の確保。
- ・緑化重点地区総合整備事業については、老朽化した公園を、ワークショップ等により地域が親しみを感じる公園にリニューアル。
- ・吸収源対策公園緑地事業については、新たに市民に身近な公園を整備することにより温室効果ガスの吸収源対策に資する高木等の緑を創出。
- ・安全・安心対策緊急総合支援事業については、老朽化した公園施設の更新や段差の解消などバリアフリー化を行い、安全・安心で地域が親しみを感じる公園へと改修。

※成果指標①の現況地および実績値については、「緑の基本計画」策定時と計画期間(10年間)の中間年に計測

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート

◇安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)

平成28年11月

福岡県福岡市



様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	安全・安心を支える緑づくり		
計画期間	平成25年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成28年度	全体事業費	6,943百万	国费率	1/3, 1/2

		要素事業名					
1) 事業の実施状況	対象事業	A. 基幹事業	○都市公園事業(西南社の湖畔公園、今津運動公園、東平尾公園、南公園、舞鶴公園) ○福岡市緑地保全事業 ○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査 ○福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業 ○福岡市吸収源対策事業 ○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業				
		B. 関連社会資本整備事業	-				
		C. 効果促進事業	○運動施設整備事業 ○植物園学習施設整備 ○動物園再生事業 ○公園施設改修事業				
		その他関連する事業	-				
	進捗状況	A. 基幹事業	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(H26年度末時点)	次期計画	
			○都市公園事業(西南社の湖畔公園)	用地取得(0.7ha)園路、エントランス広場整備	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(今津運動公園)	球技場、硬式野球場整備	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (陸上競技場改修、エレベーター設置等)	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (マレーグマ舎園路整備)	完了 (H25より社交金から移行)	-	
			○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得(0.34ha)	完了	実施予定	
○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査			長寿命化計画の策定	完了	-		
○福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業			公園施設のバリアフリー化(39公園) 改築,更新(54公園)	一部完了	実施予定		
○福岡市吸収源対策公園緑地事業			新たな都市公園の整備(2公園)	着手のみ	実施予定		
○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業			遊戯施設等の改修(90公園)	一部完了	実施予定		
B. 関連社会資本整備事業			-				
C. 効果促進事業			○運動施設整備事業	全天候型多目的グラウンド整備、スコアボード改築、 便所改築	完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
○植物園学習施設整備事業	園内サイン・植物解説板等	完了 (H25から防災・安全へ移行)	-				
○動物園再生事業	入口部道路改修、エントランス複合施設設計・整備	一部完了	-				
○公園施設改修事業	遊戯施設以外の公園施設改修(120公園)	一部完了	実施予定				
その他関連する事業	-						
2) 事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H22年度)	目標値 (H26年度)	実績値 (H26年度)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		地域の防災が充実していると感じる市民の割合	24.0%	29.0%	39.3%	災害時の避難場所となる公園の整備や既存公園のバリアフリー化など防災機能の強化を図ったこともあり、目標値を達成できた。	
		地域の子供が安心して遊べると感じている市民の割合	61.0%	67.0%	62.9%	高度成長期の昭和40～50年代に設置した多くの都市公園施設が更新の時期を迎えており、福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により、老朽化した施設の改修を順次実施しているが、目標値を達成できていない。	
		ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	31.0%	34.0%	39.3%	福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により、市民の身近な公園のバリアフリー化を図ったこともあり、目標値を達成できた。	
	吸収源対策事業において温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の総量	1,327ha	1,375ha	1,350ha	温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め、総量は平成22年度当初よりは増加したものの、公園が充足していない地域もあり、目標値を達成できていない。		
成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、比較的大規模な公園を整備することにより、市民の休息、鑑賞、散歩、運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。						
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・植物園学習施設整備について、園内のサインや植物解説板等を外国語表記に更新することにより、さらなる植物園の魅力や外国人の集客効果が向上。 ・動物園再生事業について、入口部道路の動線改良やバスケット等を整備することで、利用者のアクセスと利便性が向上。						
3) その他	今後の方針	・緊急時の避難場所となるオープンスペースを確保するため、新たな公園の整備を進める。 ・子供や高齢者が安全・安心に公園を利用できる様、引き続き、便所や園路のバリアフリー化を計画的に進めていく。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な改修・更新を進め、地域の公園で子供が安心して遊べると感じてもらえる様、公園の整備に取り組んでいく。					

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H26年度末)
みどりによる都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。また、誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため、公園施設長寿命化計画を策定し既存施設の計画的な維持管理・更新を図るとともに、現在、バリアフリーに対応していない既存施設の改修を行い公園内のユニバーサルデザイン化を目指す。	地域の防災が充実していると感じる市民の割合	24.0%	29.0%	39.3%
	地域の子供が安心して遊べると感じている市民の割合	61.0%	67.0%	62.9%
	ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	31.0%	34.0%	39.3%
	温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	1,327ha	1,375ha	1,350ha

A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(西南社の湖畔公園)	用地取得(0.6ha)、園路広場整備						1,775	H25より社交金から移行
A-2	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(今津運動公園)	球技場、硬式野球場整備等						1,035	H25より社交金から移行
A-3	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (陸上競技場改修、エレベーター設置等)						255	H25より社交金から移行
A-4	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (マレーグマ舎園路整備)						107	H25より社交金から移行
A-5	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得(0.34ha)						1,880	
A-6	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画の策定						195	
A-7	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市安全・安心対策緊急総合整備事業	公園施設のバリアフリー化(39公園)、改築・更新(54公園)						3,346	H25より社交金から移行
A-8	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市吸収源対策公園緑地事業	新たな都市公園の整備(2公園)						176	
A-9	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業	遊戯施設等の改築(90公園)						426	
合計												9,195		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		
C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	運動施設整備事業	雁の巣リノベーションセンター施設整備 (全天候型多目的グラウンド、スコアボード等)						569	H25より社交金から移行
C-2	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	植物園学習施設整備	園内サイン・植物解説板等						10	
C-3	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	動物園再生事業	入口部道路等改修、 複合施設サービス部整備等						194	
C-4	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	公園施設改修事業	遊戯施設以外の公園施設改修(120公園)						612	
合計												1,385		

<b>主な事業効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園事業については、エレベーターの設置等によるバリアフリー化、大規模な公園の整備による災害時に避難場所となるオープンスペースの創出による防災対策の充実。</li> <li>・公園施設長寿命化計画策定調査および公園施設長寿命化計画対策支援事業については、計画的な施設の改修・修繕を行うための公園施設の長寿命化計画の策定および実施による施設の長寿命化。</li> <li>・安全・安心対策緊急総合支援事業については、老朽化した施設の更新や便所等のバリアフリー化による、子供や高齢者が安全・安心に利用できる公園の創出。</li> <li>・吸収源対策公園緑地事業については、市民に身近な公園を新たに整備することにより、温室効果ガス吸収源に資する緑の創出。</li> </ul>
---------------	---